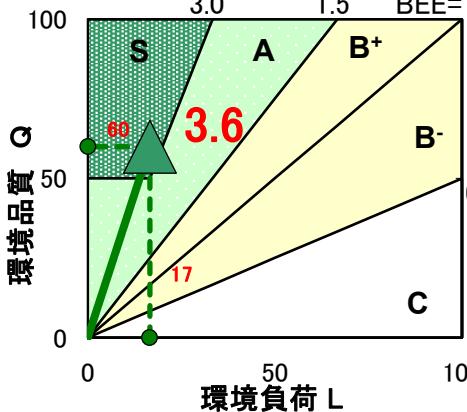
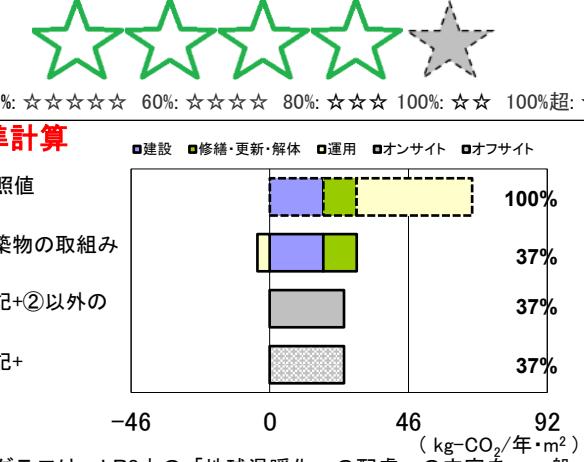
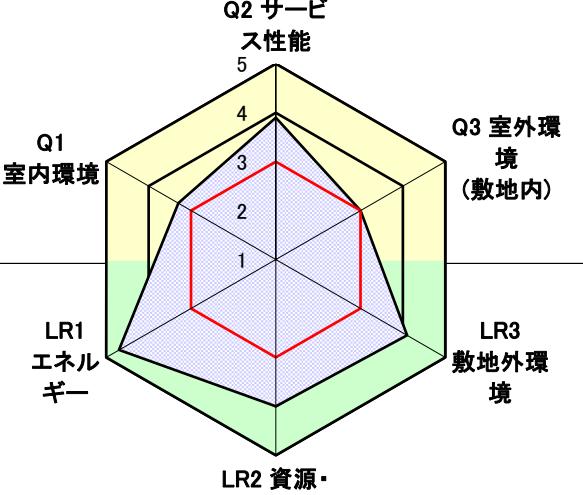


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)スター精密(株)菊川工場 南工場新築工事	階数	地上3F
建設地	静岡県菊川市	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	210 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2025年12月 竣工	評価の実施日	2025年10月16日
敷地面積	23,496 m <sup>2</sup>	作成者	(株)イズミコンサルティング
建築面積	10,129 m <sup>2</sup>	確認日	2025年10月16日
延床面積	13,449 m <sup>2</sup>	確認者	木内建設(株)一級建築士事務所

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.6 ★★★★☆</p>  <p>3.6</p>	<p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフケイクルCO2排出量の目安を示したもので</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)	Q のスコア = 3.3	
<b>Q 環境品質</b>	Q1 室内環境	Q2 サービス性能
	Q1のスコア = 3.3	Q2のスコア = 3.9
	音環境 2.8 温熱環境 3.2 光・視環境 3.2 空気質環境 3.8	機能性 3.9 耐用性 3.8 対応性 4.1
<b>LR 環境負荷低減性</b>	Q3 室外環境 (敷地内)	Q3のスコア = 3.0
<b>LR1 エネルギー</b>	生物環境 3.0 まちなみ 3.0 地域性・ 3.0	生物環境 3.0 まちなみ 3.0 地域性・ 3.0
<b>LR1のスコア = 4.7</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
建物外皮の 5.0 自然エネ 4.0 設備システ 5.0 効率的 4.0	水資源 3.4 非再生材料の 4.4 汚染物質 3.6	地球温暖化 5.0 地域環境 4.1 周辺環境 3.2
LR1のスコア = 4.7	LR2のスコア = 4.0	LR3のスコア = 4.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		その他
緑に囲まれた菊川工業団地に位置することから既存の緑地を活かした計画とし、断熱性の向上や自然エネルギーの利用等、省エネアイテムを積極的に採用することで環境に配慮した計画としました。また使用者の快適性向上のため、リフレッシュスペース確保や働きやすさに配慮した設計としています。		-
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
複層ガラスの採用等により外皮性能を上げることで温熱環境に配慮した計画としています。また、F☆☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮しています。	補修必要間隔の長い外壁材、仕上材、配管材を採用することで建物の耐用性・信頼性に配慮した計画としています。	既存緑地を保全することで良好な景観形成に配慮した計画としています。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
太陽光発電システムや、高効率の設備機器を採用するなど、エネルギー面にも配慮した計画としています。	自動水栓等の省水型機器を用いるなど水資源保護に配慮した計画としています。また、ノンフロン断熱材を採用することで汚染物質含有材料の使用を回避した計画としています。	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を50%以下とするなど、地球温暖化に配慮した計画としています。また、燃焼器具を採用しないことで大気汚染の防止に配慮した計画としています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される